



2月6日(火) 19:00 市役所6階大会議室AB
テーマ(仮):スポーツを活用したマーケティングマネジメント

早野 忠昭 氏

【主な活動実績】

35,000人の走者に対し40万人の会員制度を創り上げたス
ポーツマーケティングのプロ

【略歴】

- 2006年 東京マラソン事務局広報部部長
- 2010年7月 東京マラソン財団事務局長
- 2012年4月 東京マラソン財団事業局長、レースディレクター、
- 2013年4月 東京マラソン財団事業担当局長、東京マラソンレースディレクター、東京マラソン財団
スポーツレガシー事業運営委員長
- 2017年2月 国際陸連 ロードランニングコミッション委員就任
- 2017年9月 スポーツ庁スポーツ審議会 健康スポーツ部会委員就任
- 2017年9月 内閣府 保険医療政策市民会議委員就任



2月15日(木) 19:00 市役所1階市民活動スペース
テーマ(仮): スポーツを活用した施設・土地開発マネジメント

岡崎 正信 氏

オガールプラザ株式会社 代表取締役
オガールベース株式会社 代表取締役
オガールセンター株式会社 代表取締役
一般社団法人公民連携事業機構 理事
内閣官房地域活性化伝道師

【主な活動実績】

人口3万人弱の紫波町の交流人口を80万人に押し上げるに至るストーリーと駅前整備を断行(庁舎・産直・医療・宿泊・住宅・スポーツ施設・広場一体型の再開発)

【略歴】

地域振興整備公団(現:都市再生機構)入団後、建設省都市局都市政策課などで地域再生業務に従事。現在はオガールプロジェクトの中核であるオガールプラザ(株)、オガールベース(株)、オガールセンター(株)代表取締役として、紫波町の公民連携事業を企画推進している。同プロジェクトは、「2013年土地活用モデル大賞」において、最高賞の国土交通大臣賞を受賞するなど、注目を集めており、全国各地の地域づくり指導・講演活動に奔走している。
2011年日本を立て直す100人に選出。

2月20日(火) 19:00 市役所1階市民活動スペース
テーマ(仮): スポーツを活用した地方創生マネジメント



河野 博明 氏

(株)野沢温泉初代表取締役社長
日本スキー発祥100周年委員会事務局長
合同会社野沢温泉観光協会副会長

【主な活動実績】

人口3000人の村営スキー場(借金14億円)を民営化し、1年
足らずで毎年4億を超える黒字化とインバウンド成長を実現

【略歴】

- 1992年 野沢温泉スキークラブ理事長(1998年まで)
- 1993年 盛岡・雫石世界アルペンスキー レースオフィスAチーフ
- 1994年 インタースキー野沢温泉組織委員 雪上運営セクレタリー(1995年まで)
- 1998年 長野オリンピックアルペン 男子セクレタリー。長野パラリンピックアルペン ゼネラルセクレタリー。野沢温泉スキークラブ会長就任(2005年まで), (財)長野県スキー連盟 評議委員
- 2005年 株式会社 野沢温泉 代表取締役社長就任
- 2009年 合同会社 野沢温泉観光協会 副会長就任
- 2014年 株式会社 野沢温泉 代表取締役社長退任
- 2014年 一般社団法人 野沢温泉観光協会 副会長就任
- 2015年 観光庁 スノーリゾート地域の活性化に向けた検討会委員
一般社団法人 野沢温泉観光協会 副会長辞任

2月28日(水) 19:00 市役所1階市民活動スペース
テーマ(仮):スポーツを活用したイノベーションマネジメント



中村 考昭 氏

クロススポーツマーケティング株式会社 代表取締役社長

【主な活動実績】

日本初民設民営のゼビオドームと仙台市(長町)との取り組み及びFIBAとの協働開催による3人制バスケットボールの日本版制度設計を断行し東京五輪正式種目にまでもっていった。

株式会社リクルート、A.T. カーニー株式会社、スポーツマーケティング会社を経て、2010年5月ゼビオ株式会社入社、2011年4月より現職。2015年10月よりゼビオホールディングス株式会社副社長執行役員。

Jリーグ東京ヴェルディ取締役、アジアリーグアイスホッケー東北フリーブレイズ代表取締役オーナー代行、FIBA/JBA公認3人制プロバスケットボールリーグ「3x3 PREMIER.EXE」コミッショナーを兼務。